

エクセラン高等学校

環境科学コース

「自然と人」「社会と人」「人と人」をつなぐエクセランエコプロジェクト

特定外来種オオキンケイギク駆除活動、特定外来種アレチウリ駆除活動、在来種・希少種カワラナデシコの補植活動、クズ蔓の駆除とリース作り、竹林の調査と整備・利用活動、太陽光発電所の調査とアンケート調査、エコスクールの開催など。



長野県南安曇農業高等学校

土木研究部

再生コンクリートの活用で循環型社会の構築を目指して

廃コンクリートを配合したコンクリートが構造物として必要な強度を持たすことができるのか、圧縮強度試験を実施。結果、構造物に耐えられる強度のコンクリート作りに成功。このエコなコンクリートを使用し様々なグッズを試作し、地域へPR活動を行っている。



岐阜県立恵那農業高等学校

環境科学科

空心菜栽培による地域貢献・支援活動

岐阜県恵那市の阿木川ダム湖に発生したアオコを防ぐため、浮島での空心菜栽培を考案。ダム湖の水質浄化はもちろん、ミニ浮島や空心菜レシピ、空心菜茶の開発も行い、地域の協働活動のシンボルとなっている。



岐阜県立加茂農林高等学校

ハイビスカス・ローゼル

地域の里山環境の改善 ～耕作放棄地の活用方法の提案～

「耕作放棄地」で地域の方たちと連携し、「ローゼル」という植物の栽培を開始。使われていない畑を有効に活用することで里山の景観が守られ、需要のある農産物を生産することで単発的な活動ではなく継続した活動となる。地域の里山環境が今よりも良くなっていくと思う。

岐阜県立岐阜工業高等学校

化学研究部

いやな未来を消すけしゴム ～笑顔の輪を広める環境活動～

1. エコ製品開発や環境調査の研究活動、2. 3Rをクリアしたエコ消しゴムづくりの啓発活動、3. 東日本大震災被災地支援活動で被災地から学んできた『自然との共存』などを地域の方々に伝える活動、4. 発展途上国などの環境破壊に対する活動など。



岐阜県立飛騨高山高等学校

森林活用班

本校演習林の木を使って家を建てよう

地元企業等と協力し、本校演習林の木を使って「家」を建てることで、伐採運搬製材・加工販売という「川上から川下まで」を明らかにし、地元で育てた木を地元で活用することで、あらためて木のもつ役割や魅力を発信することをねらいとした活動。



愛知県立木曾川高等学校

総合実務部

「消えたイタセンパラ」(今、わたしたちにできる事は何?)

1994年の調査で確認されたのが最後となった木曾川の固有種のイタセンパラが発見され、本校で「イタセンパラの飼育をしたい」「何かできることはないか」と考え、有志でイタセンパラの校内での飼育活動を行うこととなった。



愛知県立南陽高等学校

Nanyo Company部

カーボン・オフセットを活用した環境保全の取組

フェアトレードやカーボン・オフセットを活用し、地域貢献を目的として、環境意識向上、さらなるカーボン・オフセットの普及啓発のために活動をしている。EVIマークを活用した商品を開発し販売を行うことで、環境の保全ができると考えている。



名古屋経済大学高蔵高等学校

理科部

山崎川から学んだこと

掃除を通してボランティア精神をはぐくみ、地域の人々と交流する。また生物調査や外来種を駆除することで環境について考え、自然と人が共存する持続的な社会について考えることを目的に、山崎川を通して、人と人の交流と環境に関して学んでいる。



愛知県立佐屋高等学校

名古屋城ヒメボタル守り隊

名古屋城いにしへのヒメボタルは、私達農業高校生が守る

尾張地域で絶滅の危機に瀕しているヘイケボタルの自然繁殖にも成功。実践により身に付けた環境保全の知識と技術を活用して、名古屋城のヒメボタルの保全活動に携わっている。



愛知県立時習館高等学校

SSH生物部環境班

三河湾の環境調査

東三河の高校生を対象に「東三河海洋環境探究講座」を毎年実施。その中で、三河湾の環境指標調査を平成20年度から継続して行い、三河湾の環境の保全に役立てることを目的として地域に広報活動をおこなった。



三重県立名張西・名張青峰高等学校

科学部

三重県名張市青蓮寺ダム周辺の獣害に関する調査

「自動撮影カメラによる水田を荒らすイノシシ等の調査」と「ラジオテレメリー法によるニホンザルの群れの調査」を継続して行った。また、地元の農家の方々や猟友会の方々に向けての調査結果報告会を行った。

